

全国保健所長会 だより

はじめに

「公衆衛生若手医師・医学生セミナー(PHSS)2019」は、令和元年8月24日(土)、25日(日)の2日間、都市センターホテルで開催されました。

地域保健総合推進事業(全国保健所長会協力事業)「公衆衛生医師の確保と育成に関する調査および実践事業」事業班において、2012年から開催している当セミナーも、今年で8回目の開催となりました。公衆衛生分野に関心がある医師、医学生のほか、公衆衛生分野に入職後5年以内の医師を対象として開催され、例年30〜40名程度の参加があります。

今年度は47名の参加があり、内訳は医学生10名、初期研修医11名、臨床医10名、公衆衛生医師10名、

公衆衛生若手医師・医学生向けサマーセミナー(PHSS)2019報告

PHSS2019運営委員長/宮崎市保健所長 西田敏秀

その他(大学院生等)6名でした。参加者は6班に分かれて、各班のファシリテーターと情報交換をしながら、公衆衛生医師のキャリアパスや業務内容について学んでいただきました。

当セミナーの目的としては、①公衆衛生分野に関心がある医師、医学生に対して、保健所等で勤務する医師から公衆衛生活動の実際やキャリアパスを伝え、今後の人材確保を目指すこと ②保健所等に入職して間もない公衆衛生医師に対して、保健所で勤務する魅力が伝わるような講義、ケースメソッド、意見交換を通じて人材育成を目指すことがあります。

講義やディスカッション等を盛り込んだ有益なセミナー

当セミナーのプログラムを表に示します。初日は開会挨拶に続き、

女性医師・医学生の参加者が、運営スタッフの女性医師に積極的に質問するなど、活発な意見交換がなされていたのが印象的でした。2日目は、今年度から新しく取り入れたプログラムで、栃木県保健福祉部保健医療監の海老名先生を司会者として、現役公衆衛生医師4名が参加者の質問に答えていくQ&Aセッションが行われました。それぞれの先生方の具体的な

経歴や公衆衛生医師になったきっかけ、仕事のやりがいや公衆衛生医師に求められる技能・資質などについてお話しいただきました。受講生にも好評のようでした。次に、受動喫煙対策に関するグループワークが行われ、長崎県県央保健所の宗所長より、保健所等で取り組んでいる受動喫煙対策について解説をいただきました。参加者は、敷地内禁煙の取り組みや禁

表 「公衆衛生 若手医師・医学生サマーセミナー2019」プログラム

| 8月24日(土) | | | |
|-------------------|----------|----------------------------|-----------------------------------|
| 13:00~13:05 | 開会挨拶 | 研究事業班 班長 | 寝屋川市保健所長 宮園将哉先生 |
| 13:05~13:10 | 主催者挨拶 | 日本公衆衛生協会 全国保健所長会 会長 | 協会理事長 松谷有希雄先生 青森県弘前保健所長 山中朋子先生 |
| 13:10~13:15 | 運営協力者紹介 | PHSS2019 運営委員長 | 宮崎市保健所長 西田敏秀 |
| 13:15~13:55 (40分) | 講義 | 公衆衛生医師のキャリアパスと社会医学系専門医 | 寝屋川市保健所 所長 宮園将哉先生 |
| 13:55~14:35 (40分) | 講義 | 保健所医師として勤務する魅力 | 地域医療振興協会 シニアアドバイザー 宇田英典先生 |
| 14:35~14:45 | 休憩 | | |
| 14:45~15:00 (15分) | アイスブレイク | 自己紹介など | |
| 15:00~16:00 (60分) | ケーススタディ | 感染症事例 | 東京都大田区保健所 高橋千香先生 |
| 16:00~16:10 | 休憩 | | |
| 16:10~16:55 (45分) | 講義 | 公衆衛生分野の人材育成 | 国立保健医療科学院 次長 曾根智史先生 |
| 16:55~17:25 (30分) | ディスカッション | 地域医療・救急医療について | 東京都中央区保健所 所長 山本光昭先生 |
| 17:25~17:35 | 休憩 | | |
| 17:35~17:50 (15分) | 講義 | 専攻医からのメッセージ | 福岡県田川保健福祉事務所 木村竜太先生 |
| 17:50~18:00 (10分) | ふりかえり | | 宮崎市保健所 所長 西田敏秀 |
| 18:00~18:20 | (個別相談会) | (閉会后) | |
| 8月25日(日) | | | |
| 9:00~9:45 (45分) | Q&Aセッション | 公衆衛生医師の実際～公衆衛生の魅力とは?～ | 栃木県保健福祉部 保健医療監 海老名英治先生 |
| 9:45~9:50 | 休憩 | | |
| 9:50~10:00 (10分) | アイスブレイク | 自己紹介など | |
| 10:00~11:30 (90分) | グループワーク | 保健所関連業務(受動喫煙対策) | 長崎県県央保健所 所長 宗 陽子先生 |
| 11:30~11:35 | 休憩 | | |
| 11:35~12:05 (30分) | 講義 | 群馬県職員として世界保健機関(WHO)で勤務した経験 | 群馬県渋川保健所/吾妻保健所 所長 武智浩之先生 |
| 12:05~12:35 (30分) | 講義 | 公衆衛生分野における女性医師の活躍 | 神奈川県立保健福祉大学 教授 吉田穂波先生 |
| 12:35~12:50 (15分) | ふりかえり | | 宮崎市保健所 所長 西田敏秀 |
| 12:50~13:00 | 閉会・事務連絡 | アンケートなど | 運営委員 |
| 13:00~13:30 | (個別相談会) | (閉会后) | |

寝屋川市保健所の宮園所長による「公衆衛生医師のキャリアパスと社会医学系専門医」についての講義が行われました。具体的なキャリアパスの例示があり、受講生にもイメージしやすかったのではないかと思います。

次に、地域医療振興協会シニアアドバイザーの宇田先生による「保健所医師として勤務する魅力」についての講義が行われました。公衆衛生医師として活躍されてきた経験を基に、公衆衛生医師として働く魅力や面白さ、公衆衛生の歴史とこれから求められる役割について、お話しいただきました。

その後、アイスブレイクを挟んで感染症に関するケーススタディが行われ、東京都大田区保健所の高橋課長より、実際に保健所に対応した結核事例を基に、保健所の対応について解説をいただきました。



長崎県県央保健所長の宗所長による講演(受動喫煙対策GW)

煙支援、事業者への啓発などについて、意見交換を行いました。

その後、群馬県渋川/吾妻保健所の武智所長より、「世界保健機関(WHO)での勤務した経験」と、神奈川県立保健福祉大学の吉田教授より、「公衆衛生分野における女性医師の活躍」についての講義がありました。国際保健へのアプローチや女性医師ならではの目線が、参考になったのではないかと思います。

受講後アンケートからも、以前と比較して、受講前からの公衆衛生分野への興味が強い参加者が増えてきている印象を受けました。また、すでに入職している参加者、運営スタッフも含め、現職公衆衛生医師のモチベーションの維持や高揚につな

た。参加者には、疫学調査の実際や広報対応、感染拡大防止策などについて、各班で意見交換を行いながら、保健所業務に触れてもらいました。

「公衆衛生分野の人材育成」では、国立保健医療科学院の曾根次長より、キャリア形成に必要なものとして、緩いつながりや大事にすることや、卒業後にはルールが変わることに気付き、切り替えること、組織で働くことのメリット、公衆衛生の面白さなどについてお話しいただきました。

「地域医療・救急医療について」のディスカッションでは、各班で地域の救急医療の現状などについて、自由に意見交換をしていただき、その後「専攻医からのメッセージ」として、福岡県田川保健福祉事務所の木村先生から、公衆衛生若手医師の仕事の実際をお話しいただきました。特に、これから入職を考えている若い先生方の参考になったのではないかと思います。

初日終了後には、同ホテル内で意見交換会も開催されました。参加者からは、運営スタッフや他の参加者との交流がすごく役に立った、との声もありました。特に、



グループワークの様子

がっていると感じています。

おわりに

今年度はディスカッションやQ&Aセッションの導入など、新たな取り組みを始めました。さらに、初日と2日目で受講生の班編成を変えるなど、受講生が多くの方と交流できるよう工夫を行いました。

このセミナーを通じて、参加者がより公衆衛生に興味を持っていただき、公衆衛生医師の人材確保・育成につながることを願っています。

最後に、今回運営に当たりご協力いただいた25名の先生方および日本公衆衛生協会事務局の方々に感謝申し上げます。